



The Service Club for the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU**

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan  
 Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチェ(韓国)  
 アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)  
 東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか？ 大久保知宏 (宇都宮)  
 あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)  
 甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進！ 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2021年 10月 会報

●今月の強調目標

BF / TW22

■ ■ ■ 今月のことば ■ ■ ■

神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

新約聖書コリントの信徒への手紙 I-10章13節 小倉 恵一 君選

今月の例会案内

日時：2021年10月12日(火) 18:45～20:15  
 会場：ホテル談露館 担当：会員増強委員会  
 司会：仙洞田安宏 君

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

行動は言葉より雄弁

Actions speak louder than words.

書記 廣瀬 静男

プログラム

- ・開会点鐘 石川 和弘 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長挨拶・ゲスト紹介 石川 和弘 会長
- ・今月のことば 小倉 恵一 君
- ・ワイズディナー(食前感謝:小倉 恵一 君)
- ・ゲスト卓話 「ラグビーを通じた人づくり  
 ～One for all All for one」  
 山梨学院大学スポーツ科学部教授 梶原 宏之 様
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAバザーについて、諸報告
- ・甲府ワイズの歌
- ・閉会点鐘 石川 和弘 会長



2019年11月、台風19号により大きな被害を受けた長野市穂保地区に、山梨YMCA災害支援ボランティア「長野おうえん隊」の一人として参加しました。

泥が1メートルも堆積した広大なリンゴ畑、ガレキの山、土台が無くなり崩れ落ちそうな家等を目の当たりし、その被害の大きさに驚きました。テレビの報道ニュース等で見て想像していたものとは全く違う印象でした。災害ボランティアは現場では何をするかという事も少し判りました。

9月のデータ

会員数 30名(うち広義会員1名)  
 9月例会は、中止となりました。



講師プロフィール  
 梶原 宏之 様

1966年生まれ、日川高校でラグビーを始める。筑波大卒業、東芝に入社、1989年日本代表に選出される。'91年と'95年のワールドカップに出場、'97年帰郷し県内高校の監督を務める。2019年山梨学院大学ラグビー部監督に就任。



私はワイズに入会して18年目になりますが、機会があり、東日本区大会、あずさ部大会、評議会、チャリティーラン、バザー等々、いろいろな行事に参加することができました。この現場での貴重な経験はワイズの理解を深めるのに大変勉強になりました。他クラブのメンバーとの交流もでき、得られることもたくさんありました。今はコロナ禍で先が見えませんが、対面の活動ができるようになりましたら、例会以外の行事にも積極的に参加し、ワイズ読本にあるように「一人一人がリーダーとなりアクティブに活動する」に取り組んでいきましょう。季節の変わり目、体調には十分に注意しましょう。

## 9月役員会報告 & YMCA バザー・CR 実行委員会報告

### ▼役員会

◎9月28日(火) 18:30～19:40 山梨YMCA  
◎出席者:石川(和)・渡辺・田中・廣瀬・田草川・丹後・小倉・マウントフォード・仙洞田・標

#### 【報告事項】

▽9/15,9/17,9/29に開催された、YMCAバザーとチャリティーランの実行委員会報告が書記からあった。

#### 【協議事項】

▽10月例会の詳細を決定した。  
▽11月例会案(チャリティーラン直前なので準備等)  
▽熱海・伊豆山地区土砂災害に伴う活動支援金をクラブとして拠出することを承認

#### 【その他】

▽今年度のロースター&ハンドブックの配信を書記がメールで行う。

### ▼バザー&チャリティーラン実行委員会

◎9月15日(水)18:00～19:40 YMCA及びZOOM  
開催、出席者:石川(和)・廣瀬

チャリティーランは11月27日(土)にプチリアル(YMCA職員とワイズのみ会場)方式で開催。

◎9月17日(金)17:30～18:20 YMCA  
バザー緊急ミーティング、出席者:石川(和)・廣瀬  
去年と同様11月3日(水)に実施することを決定

◎9月29日(水) 18:00～19:30 YMCA  
臨時実行委員会 出席者:石川(和)・渡辺・小倉・廣瀬  
バザー組織一覧、分担表、タイムスケジュール、駐車場、コロナ対策等去年の資料に基づき現時点での確定事項の報告、その他についての確認を行った。次回実行委員会は10月15日(金)

(書記・廣瀬静男)

## あずさ部エクステンション委員会報告

あずさ部 EMC 事業主査 標 克明

9月3日(金)、今年度第2回目となる「あずさ部エクステンション委員会」が、19:00からZOOMを使って部キャビネット、各クラブ会長、オブザーバーなど13名でおこなわれました。

長谷川あずさ部部長の挨拶の後、参加者の一言挨拶があり、甲府クラブから参加した仙洞田さんからは、甲府駅北口に作ろうとしている新クラブに関して、コロナ禍で思うような話し合いもせず、苦戦している報告がありました。

司会の菰淵光彦さん(あずさ部エクステンション委員会委員長・東京サンライズ)から8月30日におこなわれた東日本区EMC拡大委員会の報告があり、特にワイズ紹介QRコードカードの積極的な活用のお願いと9月19日から始まるナイトフォーラム開催にあたり参加者が少ないので会員も含めなるべく多くの申し込みをお願いすると話がありました。

会議の後半では、ナイトフォーラムには入会して3年くらいの会員も参加したらよいという意見と、カードの使い方についての意見、ZOOM会議を積極的に活用して、IBC交流を活発にしたらよい。またやはりリアル例会が必要で欠かすことが出来ない。エクステンション委員会なのにその話がないのならこの委員会開催の意味があるのかと厳しい意見もありました。20時40分に閉会しました。

甲府クラブからの参加者は仙洞田さんと標でした。(右写真:ZOOM画面)

## 東日本区第3回拡大EMC委員会報告

9月29日(水)19:00～20:30 Zoom会議で委員会が開催されました。参加者は20名で、大久保理事の挨拶では100日キャンペーン中で入会者があればよいと参加者の協力を呼びかけました。

活動報告について東日本区大川会員増強主任から前回よりも少ない報告で19クラブのみだったと報告がありました。次に各部のエクステンション委員会の報告が北から順次ありました。コロナ禍で活動が制限されているので、動きがないところが多く苦戦しているという報告が多かったような感じがしました。あずさ部の菰淵委員長からは、あずさ部ではこの拡大EMC委員会の後エクステンション委員会を開催していることと、甲府クラブの北口新クラブ設立の動向の話がありました。また甲府21クラブを筆頭にMCの活動は順調のように感じるとの話もありました。

今回は9月29日(水) 19時～開催予定。9月時点、あずさ部会員176名(7月～9月で5名入会)甲府21:3名、松本:1名、長野:1名。





「せっかく山梨に住んでいるんだから」

神山 玄太

新型コロナウイルスの感染拡大で生活が大きく一変しました。

私たちの仕事は議場や会議室に集まることを前提に仕組みが作られており、また政治活動も、人とお会いしたり、集まっていただくことが中心ですので、コロナ禍ではこれまでのように議会活動ができなかったり、政策勉強会や活動報告会、行政相談などの政治活動が思うように開催できていません。とは言え、甲府市議会においてはコロナ禍を理由に会議を開催しないということはなく、様々な感染予防対策を行って、議会の会期を例外的に長期間に設定しいつでも会議を開けるようにしたり、感染症対策を検討する特別委員会を設置したりと、活発な活動を行ってきました。コロナ禍に直面したことで、住民を起点とした議会の在り方について改めて考えるきっかけとなり、甲府市議会でも議会基本条例の制定に至り、この9月から新たな議会運営が行われています。

さて、コロナ禍になったことで、私も自分自身や自分の生活を見直す機会が増えました。これまで当たり前であった週末のイベントや集会はほとんど中止となり、議員になって初めてというくらい、まとまった時間を週末に取るできるようになりました。そんなまとまった時間で新たに始めた2つのことがあります。

1つ目は、毎日、見渡している山々に登ることです。登山を始めました。昨年の秋頃から本格的に山に登り始め、甲府市が認定する25の甲府名山も踏破し、先日は八ヶ岳の最高峰、赤岳にも登ってきました。いったん登り始めると、次はどの山に行こう、どの山に登ろうと、どんどん登りたくなります。せっかく山々に囲まれている山梨に住んでいるので、自分の健康づくりも兼ねて様々な山に登っています。

そして新たに始めたもう1つのこと、それはワインの勉強です。せっかく山梨県は「ワイン県」になったので、ただ飲むだけではなく、きちんと学ぼうと思い、ワインの資格試験の勉強を始めました。もともと一番飲むお酒はワインでしたので、その延長線上で勉強できるかと思っていましたが、試験はそんなに甘いものではありません。いまは勉強をしながら、お酒を飲むのも楽しくない、と思っています。

コロナ禍となり、先行きもまだまだ不安な中ではありますが、少しでも気分転換になることをしながら、仕事や政治活動がきちんとできるように自分自身の気持ちを前に向かせています。早くコロナ禍も終息し、これまでの生活や活動を取り戻したいと願っています。せっかく山梨に住んでいるんだから、みなさんとよっちゃばっての無尽会ができる日を待ち遠しく思います。

## 談話室



「夢の編集」

仙洞田安宏

夢はいつか叶うものだと思います。

少年の頃の一時期は、雑誌編集者になることが夢でした。当時購読していた雑誌に惹かれ、自分も作る側になりたいという単純な発想でした。その後の進路は諸事情で建築を学ぶ道に進まざるを得ませんでした。建築の世界を知ると、設計事務所を開きたいという夢を持つようになりました。29歳の時、本来の思惑とは全く別の事情で独立しました。内容はともかく形だけは夢が叶った訳です。それが来年で40年になります。この間、「編集者」とは縁のない生活を送っていましたが、ワイズに入って、クラブのブリテンを担当する機会があり、少年時代の夢が思わぬ形で実現しました。さらにクラブの周年記念誌や東日本区の区報の編集にも携わることができました。

考えて見ると、「編集」も「設計」も共通する部分があります。どちらも素材を取捨選択し、構成し、配置し、関連づける作業です。能力の有無は別にして、このようなことが自分の性分に合っていたのかも知れません。

さて、古希に近づくにつれ、仕事もワイズもあと10年、と思うこのごろです。人生を一編の物語に喩えるなら、最終章に差し掛かったところでしょう。残りのチャプターをどのように「編集」しようかと思ひあぐねていたら、ひとつの夢を思いつきました。人生という物語の中の「ワイズの章」を編集することです。これまでにブリテンなどに投稿した文章や、関わった活動の記録などを纏められたらと思います。私にとってはそれが最後の「編集」になるのか、それともその先に別の「夢の編集」が待っているのか、現実の世界は思うように編集できるものではありませんが、それもまた楽しみの一つと思っています。

**註:**この文章は、横浜とつかクラブのブリテン9月号に寄稿したものの再録です。

## お知らせ

大澤英二前山梨YMCA理事長(甲府クラブ元会員)が召天されて(11月12日)間もなく1年になります。山梨YMCAとワイズメンズクラブ共催で「大澤英二召天記念講演会」を開催することになりました。

日時:11月6日(土) 13:30~15:30  
会場:山梨YMCA

講演:牧師 関田寛雄 様

詳細は10月例会においてご案内します。



熱海・伊豆山地区土砂災害に伴う  
支援の寄付お願い

去る7月3日に発生した熱海市伊豆山地区土砂災害につきまして、東日本区では、YMCAによる「被災地支援プログラム」のために、寄付を募ることになりました。今回は、コロナウイルス感染拡大防止のため、対面によるクラブ例会の開催が難しい状況を考え、クラブ単位、クラブ+個人、個人によるご送金が想定されます。そこで、下記の通りルールを定めましたのでご了解下さい。

【送金ルール】

送金者氏名について、個人の場合はクラブ名も明記。クラブ単位の場合は、クラブ名のみで結構です。

【募金期間】 9月10日(金)～12月31日(金)

【送金先】

- ・銀行名:三島信用金庫 熱海支店
- ・口座番号:普通 1165698
- ・口座名:特定非営利活動法人 静岡YMCA
- ・名義人:理事 稲田精治



ただいま国際協会では 100 日間  
会員増強集中キャンペーン中です!  
期間:9月1日～12月9日  
各クラブ増員 1名以上を目指しましょう!

\*これからの行事予定\*

- 10月15日(金) バザー・CR実行委員会(山梨YMCA)
- 10月16日(土) あずさ部部大会(Zoom)
- 10月26日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)
- 11月 3日(水) 山梨YMCAバザー
- 11月 6日(土) 大澤英二召天記念講演会(山梨Y)
- 11月 9日(火) 11月例会

10月アニバーサリー

- 標 克明・恭子(2日) 廣瀬 静男・昌子(2日)
- 荒川 洋一・宏枝(3日) 石原 基平・久美(9日)
- 丹後 佳代・内田和俊(10日)
- 鶴田 一郎・美恵子(14日) 北条 繁寿・順子(19日)

10月 ハッピーバースデー

- メン:丹後 佳代(2日) 露木 淳司(2日)
- 中澤 文雄(6日) 鶴田 一郎(14日)
- メネット:丸茂 宣恩(6日) 小倉 香苗(11日)
- 石川てる子(17日) 石原 靖子(17日)



今年は両方やります。  
バザーとチャリラン

山梨YMCA 総主事 露木淳司

10月に入って、新型コロナ感染第5波がようやく収束しそうな雰囲気の中、YMCAではバザーとチャリランに備え、合同実行委員会が開催されました。まだまだ不安は拭い去れない状況ではありますが、バザーもチャリランも支援者や要支援者への期待に応えるためには何としても実施すべき、という声を受け、万全の対策を講じながらリアル開催する方向で決定しました。

バザーは例年通り11月3日(水・文化の日)に行います。昨年同様、飲食はなし。YMCA新会館の駐車場とグラウンドにテントを並べて、すべて屋外で実施します。まずはびっくり市への献品集めと、出店者の募集に励むことから始めます。

そして、昨年中止したチャリランについては、11月27日(土)、小瀬スポーツ公園で実施します。しかし、いつものように協賛企業の社員の皆さんによる自走チームや、一般の大学生などによる代走チームに走ってもらうリレー方式ではありません。協賛団体は募集しますが、ランナーはすべてYMCAの関係者、つまり、年間を通じてYMCAに通っている子どもたちやワイズメンの皆さん限定で、チームを編成します。リレーは大人、子ども同時にスタート、別コースで子どもは走って大人は歩く、という複合スタイルになります。まだまだ詰めの作業中ですが、ワイズメンの皆さんにはぜひ両イベント共に全員参加で臨んで欲しいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

《今月のことばについて》～小倉恵一

今月の言葉は新約聖書で、パウロという使徒(十二使徒ではない)が、当時ギリシャの代表的な都市であったコリントという所の教会の人々に宛てた手紙の一部です。13節前段の「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。」の後に表題の聖句が続いています。

私たちが苦しめている新型コロナウイルス禍は、9月末には国の緊急事態宣言等が解除されましたし、山梨県内でも8月に「まんえん防止等重点措置」が発令されてから感染者数は減少傾向ですが、まだまだ予断は許されない状況にあります。

コロナ禍に限らず、いかなる試練にも(神様は)必ず解決の道を開いてくださっているという事を信じて、心穏やかに暮らしていきたいと思えます。